

《2024年版》  
LINE広告コンバージョン設定手順

## この資料でできること

本資料の手順通りに作業をすれば初心者でもLINE広告のコンバージョン設定が完了できます。

## 設定の流れ

### 1 ベースコードを取得・設置する

LINEタグを用いてコンバージョン計測を行うには、LINEタグのベースコードをWebサイトのヘッダーコード内に設置する必要があります。まずは設置必須であるベースコードから設定していきます。

### 2 コンバージョン計測のコードを取得・設置する

コンバージョンコードは下記の2種類があります。配信目的に合わせて各自設定します。

- A. コンバージョンコードを取得、設置する
- B. カスタムイベントコードを作成・設置する

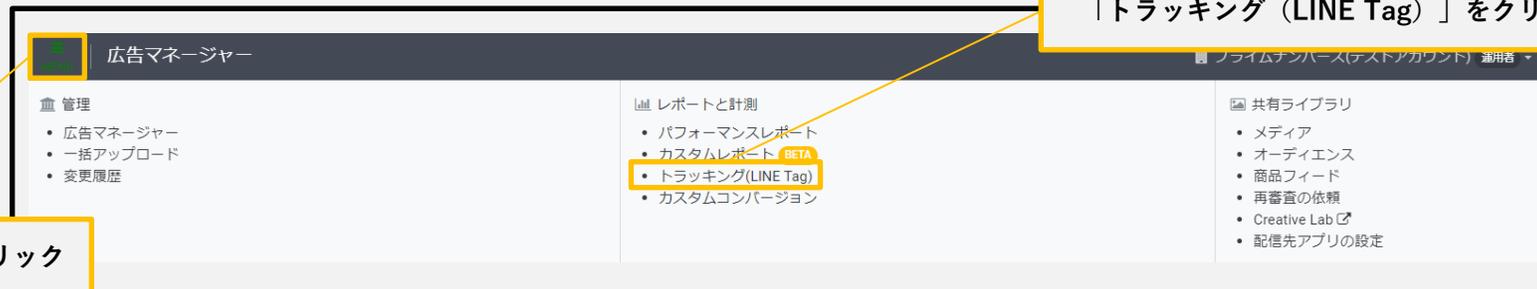


# ① ベースコードを取得・設置する

# ／ ベースコードを取得する

1

管理画面左上の「MENU」をクリック



「トラッキング (LINE Tag)」をクリック

2

3

ベースコードの「コピー」をクリック



コピー

／ ベースコードの取得が完了したら、次はWebサイトへ設置をしていきます。  
コードの設置方法は大きく分けて以下の2種類です。

### 1 Webサイトへ直接設置する

LINEタグのベースコードをWebサイトのコンバージョン計測したいページのヘッダー内（<head>～</head>内）に設置します。  
ここまででベースコードの設定は完了です。

### 2 タグマネージャーで設置する

本資料では最もメジャーなタグ管理ツールである「Googleタグマネージャー」の設定方法を解説します。**設定方法については次ページ以降で解説します。**

※Googleタグマネージャー (Google Tag Manager, GTM) は、ウェブサイトやアプリにおける様々なタグをコード編集なしで一元管理できる無料ツールです。GTMを利用することで、タグの追加や更新、管理を簡単に行うことができます。

# ① ベースコードを取得・設置する

-Googleタグマネージャーでベースコードを設置する-

# Googleタグマネージャーでアカウントを作成する

※アカウントを既に作成済の場合はP10へ進んでください

※Googleタグマネージャーへログインする

1

Googleタグマネージャーで「アカウントを作成」をクリック

The screenshot shows the Google Tag Manager interface. At the top, there is a navigation bar with the text 'タグ マネージャー' and 'すべてのアカウント'. Below this, there is a search bar and a button labeled 'アカウントを作成'. The main content area displays a table of accounts. The table has three columns: 'コンテナ名 ↑', 'コンテナの種類', and 'コンテナ ID'. The first row shows a container name, 'ウェブ' as the type, and a container ID. The second row is partially visible, showing another container name and 'ウェブ' as the type.

コンテナ名 ↑	コンテナの種類	コンテナ ID
[Redacted]	ウェブ	[Redacted]
[Redacted]	ウェブ	[Redacted]

# Googleタグマネージャーでアカウントを作成する

## 2

← 新しいアカウントの追加

アカウントの設定

アカウント名  
例: 社名

国  
アメリカ合衆国

Google や他の人と匿名でデータを共有

コンテナの設定

コンテナ名  
例: www.mysite.com

ターゲットプラットフォーム

<input checked="" type="checkbox"/>	ウェブ デスクトップとモバイルのウェブサイトでの使用向けです
<input type="checkbox"/>	iOS iOS アプリでの使用向けです
<input type="checkbox"/>	Android Android アプリでの使用向けです
<input type="checkbox"/>	AMP Accelerated Mobile Pages での使用向けです
<input type="checkbox"/>	Server For server-side instrumentation and measurement

作成    キャンセル

任意の名前名を設定

自国（日本）を選択

任意の名前を設定

該当する項目を選択

# Googleタグマネージャーのコード（コンテナ）をWebサイトへ設置する【初回のみ】

Googleタグマネージャーの初期設定として、コンテナをHTML内に直接埋め込んで設定していきます。コンテナはタグを一元管理する箱の様なもので、一度HTML内に設定すれば、あとはGoogleタグマネージャー上でコード編集なしでタグ設置、管理ができるようになります。

### Google タグ マネージャーをインストール

下のコードをコピーして、ウェブサイトのすべてのページに貼り付けてください。

1. このコードは、次のようにページの <head> 内のなるべく上のほうに貼り付けてください。

```
<!-- Google Tag Manager -->  
<script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.start':  
new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0],  
j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:'';j.async=true;j.src=  
'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefore(j,f);  
})(window,document,'script','dataLayer','GTM-T3J7VKKQ');</script>  
<!-- End Google Tag Manager -->
```

2. 開始タグ <body> の直後にこのコードを次のように貼り付けてください。

```
<!-- Google Tag Manager (noscript) -->  
<noscript><iframe src="https://www.googletagmanager.com/ns.html?id=GTM-T3J7VKKQ"  
height="0" width="0" style="display:none;visibility:hidden"></iframe></noscript>  
<!-- End Google Tag Manager (noscript) -->
```

3. ウェブサイトをテストする（省略可）：

例:

Google タグ マネージャー スニペットの導入について詳しくは、[クイックスタートガイド](#)をご覧ください。

OK

3

コードをコピーしてWebサイトのすべてのページの <head> 内のなるべく上のほうに貼り付け

4

コードをコピーしてWebサイトのすべてのページの <body> 直後に貼り付け

# GoogleタグマネージャーでLINEベースコードを設置する

5

「新しいタグを追加」をクリック

The screenshot displays the Google Tag Manager workspace for 'Default Workspace'. The interface includes a left-hand navigation menu with options like 'サマリー', 'タグ', 'トリガー', '変数', 'フォルダ', and 'テンプレート'. The main content area is divided into several sections: a top status bar showing 'コンテナの品質: 非常に良い' and '問題は検出されませんでした。'; a '新しいタグ' (New Tag) section with a '新しいタグを追加' button highlighted by a yellow box and a callout; a '現在編集中心' (Currently Editing) section with a blue header and statistics for 'ワークスペースの変更' (0 corrections, 0 additions, 0 deletions); a '公開されなかった変更' (Unpublished Changes) section with a green header and a message to publish changes; and a 'ワークスペースの変更' (Workspace Changes) section at the bottom with a message 'このワークスペースには変更がありません。' and a '詳細' link. The bottom of the page shows an 'アクティビティ履歴' (Activity History) section.

## GoogleタグマネージャーでLINEベースコードを設置する

「LINEベースコード」など任意の名前を設定

6

The screenshot shows the Google Tag Manager interface for a new tag. The browser tab is titled '名前のないタグ' (Tag with no name). The main content area is divided into two sections: 'タグの設定' (Tag Settings) and 'トリガー' (Triggers). In the 'タグの設定' section, there is a large grey button with a right-pointing arrow icon. Below this button is the text 'タグタイプを選択して設定を開始...' (Select a tag type to start settings...) and a blue link labeled '詳細' (Details). A yellow box highlights this button, with a callout box containing the text 'タグアイコンをクリック' (Click the tag icon). A large yellow number '7' is positioned to the right of the 'タグの設定' section. In the 'トリガー' section, there is a large grey button with a circular arrow icon. Below this button is the text 'トリガーを選択してこのタグを配信...' (Select a trigger to publish this tag...) and a blue link labeled '詳細' (Details).

× 名前のないタグ

保存

タグの設定



タグタイプを選択して設定を開始...

[詳細](#)

タグアイコンをクリック

トリガー



トリガーを選択してこのタグを配信...

[詳細](#)

# GoogleタグマネージャーでLINEベースコードを設置する

9

× タグタイプを選択

コミュニティ テンプレートギャラリーでタグタイプをさらに見つけましょう

おすすめ

- Google アナリティクス
- Google 広告
- Floodlight
- Google タグ
- コンバージョンリンカー
- おすすめのコミュニティ CMP テンプレート

カスタム

- カスタム HTML
- カスタム画像

8

タグタイプ「カスタムHTML」をクリック

× 手順「6」で設定したタグ名

括弧内にLINE広告管理画面でコピーしたベースコードを貼り付け

保存

タグの設定

タグの種類

カスタム HTML

HTML

```
1 <!-- LINE Tag Base Code -->
2 <!-- Do Not Modify -->
3 <script>
4 (function(g,d,o){
5   g._ltq=g._ltq||[];g._lt=g._lt||function(){g._ltq.push(arguments)};
6   var h=location.protocol==='https'?https://d.line-scdn.net':http://d.line-scdn.net';
7   var s=d.createElement('script');s.async=1;
8   s.src=o||h+'/n/line_tag/public/release/v1/lt.js';
9   var t=d.getElementsByTagName('script')[0];t.parentNode.insertBefore(s,t);
10  })(window, document);
11 _lt('init', {
12   customerType: 'lap',
13   tagId: '9c324168-8d9c-40a1-af62-fb7e7a582a88'
14 });
15 _lt('send', 'pv', ['9c324168-8d9c-40a1-af62-fb7e7a582a88']);
16 </script>
17 <noscript>
18 <img height="1" width="1" style="display:none" />
```

document.writeをサポートする

詳細設定

# Googleタグマネージャーでベースコードのトリガーを作成する

× 手順「6」で設定したタグ名

タグの種類  
カスタム HTML  
カスタム HTML タグ

```
HTML
1 <!-- LINE Tag Base Code -->
2 <!-- Do Not Modify -->
3 <script>
4 (function(g,d,e){
5   g._ltag=g._ltag||[];g._ltag._ltag=function(){g._ltag.push(arguments)};
6   var h=location.protocol==='https'?https://d.line-scdn.net:'https://d.line-scdn.net';
7   var s=d.createElement('script');s.async=1;
8   s.src=ol[h+'//n/line_tag/public/release/v1/lt.js'];
9   var t=d.getElementsByTagName('script')[0];t.parentNode.insertBefore(s,t);
10  })(window, document);
11  _ltag('init', {
12    customerType: 'lap',
13    tagId: '9c324168-8d9c-40a1-af62-fb7e7a582a88'
14  });
15  _ltag('send', 'pv', ['9c324168-8d9c-40a1-af62-fb7e7a582a88']);
16 </script>
17 
19 </img>
20 </script>
```

document.write をサポートする

> 詳細設定

トリガー

トリガーアイコンをクリック

トリガーを選択してこのタグを配信...  
詳細

10

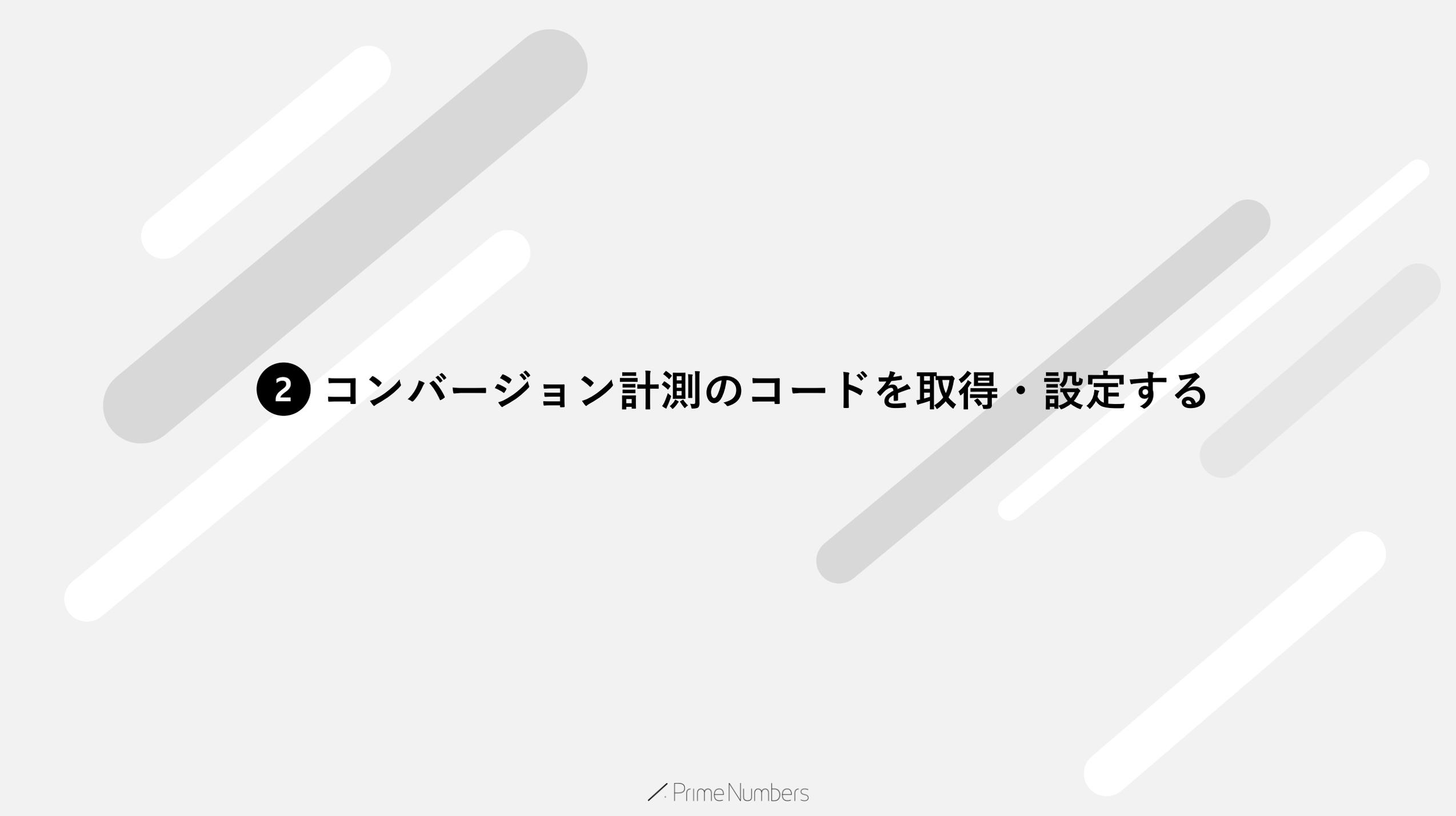
× トリガーの選択

名前 ↑	タイプ	フィルタ
<input checked="" type="radio"/> All Pages	ページビュー	--
<input type="radio"/> Consent Initialization - All Pages	同意の初期化	--
<input type="radio"/> Initialization - All Pages	初期化	--

11

「All Pages」を選択

上記の設定を「保存」→「公開」したら、これでベースコードの設定は完了です



## ② コンバージョン計測のコードを取得・設定する

／ LINE広告のコンバージョン計測のコードは下記2種類があります。  
配信目的に合わせて各自設定していきます。

**A** コンバージョンコードを取得・設置する

▶通常コンバージョン設定

「お問い合わせ完了」や「購入完了」などコンバージョン地点にコンバージョンコードの設置が必要です。LINE広告経由でコンバージョンコードを設置したページにユーザーが訪問すると、LINE Tagが呼び出され、コンバージョンが計測されます。

**B** カスタムイベントコードを作成・設置する

▶カスタムコンバージョン設定

コンバージョンコードによるコンバージョン計測以外の方法でコンバージョン計測をすることができます。特定の条件による計測が可能になり、より細かな分析や最適化ができます。以下の様な設定がしたい場合はカスタムイベントコードの作成・設置が必要です。

- ・ 「ページのスクロール率100%」などコンバージョンコードでは計測できない指標を計測する場合
- ・ コンバージョンコードではCVポイントを1つしか設定ないため、複数のCV地点を設定したい場合
- ・ マイクロコンバージョンを設置したい場合
- ・ 標準イベントに設定されている指標以外をコンバージョンとして測定したい場合 など

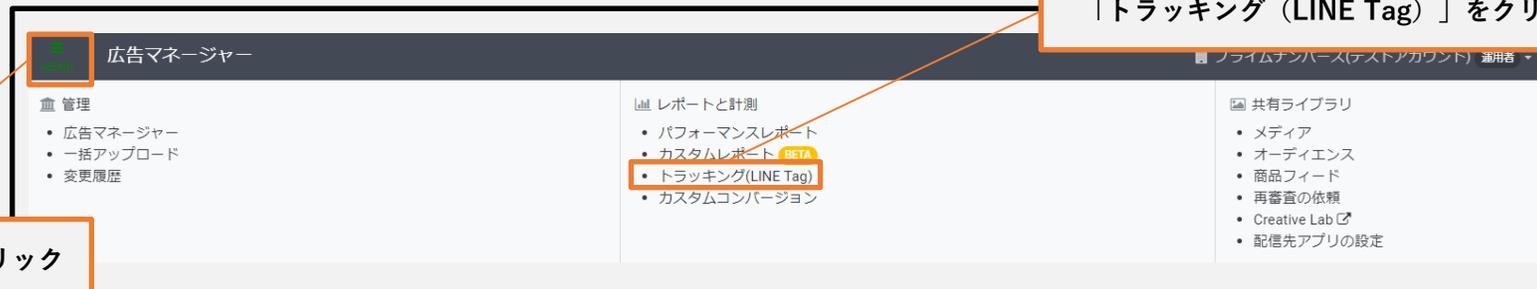
## ② コンバージョン計測のコードを取得・設定する

- ① コンバージョンコードを取得・設置する -

# ／ コンバージョンコードを取得する

1

管理画面左上の「MENU」をクリック



「トラッキング (LINE Tag)」をクリック

2

3

コンバージョンコードの「コピー」をクリック



コンバージョンコード

標準イベントコード

カスタムイベントコード

ウェブサイトのコンバージョンを計測したいページに、コンバージョンコードを設置してください。

コンバージョンコードはベースコードの直後に設置してください。コンバージョンコードのマニュアル

コンバージョンコード

```
<script>
  _lt('send', 'cv', {
    type: 'Conversion'
  }, ['9c324168-8d9c-40a1-af62-fb7e7a582a88']);
</script>
```

コピー

／ コンバージョンコードの取得が完了したら、次はWebサイトへ設置をしていきます。コードの設置方法は大きく分けて以下の2種類です。

### 1 Webサイトへ直接設置する

ウェブサイトのコンバージョンを計測したいページに、コンバージョンコードを設置してください。コンバージョンコードは**ベースコードの直後**に設置してください。**ここまででコンバージョン設定は完了です。**

### 2 タグマネージャーで設置する

本資料では最もメジャーなタグ管理ツールである「Googleタグマネージャー」の設定方法を解説します。**設定方法については次ページ以降で解説します。**

※Googleタグマネージャー (Google Tag Manager, GTM) は、ウェブサイトやアプリにおける様々なタグをコード編集なしで一元管理できる無料ツールです。GTMを利用することで、タグの追加や更新、管理を簡単に行うことができます。

## **A** コンバージョンコードを取得・設置する

-Googleタグマネージャーでコンバージョンコードを設置する-

# GoogleタグマネージャーでLINEコンバージョンコードを設置する

1

「新しいタグを追加」をクリック

The screenshot displays the Google Tag Manager interface for a workspace named 'Default Workspace'. The top status bar shows 'コンテナの品質: 非常に良い' (Container Quality: Very Good) and '問題は検出されませんでした。' (No issues detected). The left sidebar contains navigation options: サマリー (Summary), タグ (Tags), トリガー (Triggers), 変数 (Variables), フォルダ (Folders), and テンプレート (Templates). The main content area is divided into several sections: 1. '新しいタグ' (New Tag) section, which includes a sub-header '50種類を超えるタグタイプから1つ選択します' (Select one from over 50 tag types) and a button labeled '新しいタグを追加' (Add New Tag) that is highlighted with an orange box. 2. '説明' (Description) section with a '説明を編集' (Edit Description) button. 3. '現在編集中' (Currently Editing) section for 'Default Workspace', showing a table of workspace changes: 'ワークスペースの変更' (Workspace Changes) with 0 '修正済みの数' (Number of corrections), 0 '追加済みの数' (Number of additions), and 0 '削除済みの数' (Number of deletions). Below this is a 'ワークスペースを管理' (Manage Workspace) button. 4. '公開されなかった変更' (Unpublished Changes) section, a green box stating 'タグを追加して、変更内容を公開してください。' (Add tags and publish the changes). 5. 'ワークスペースの変更' (Workspace Changes) section, which is currently empty and contains a message: 'このワークスペースには変更がありません。' (There are no changes in this workspace) with a '詳細' (Details) link. 6. 'アクティビティ履歴' (Activity History) section at the bottom.

## GoogleタグマネージャーでLINEコンバージョンコードを設置する

「LINE広告\_お問い合わせ」など任意の名前を設定

2

The screenshot shows the Google Tag Manager interface for a tag named '名前のないタグ' (Tag with no name). The interface is divided into two main sections: 'タグの設定' (Tag Settings) and 'トリガー' (Triggers). In the 'タグの設定' section, there is a large grey button with a right-pointing arrow icon. Below this button is the text 'タグタイプを選択して設定を開始...' (Select a tag type to start settings...) and a blue link labeled '詳細' (Details). A callout box points to this button with the text 'タグアイコンをクリック' (Click the tag icon). In the 'トリガー' section, there is a large grey button with a circular arrow icon. Below this button is the text 'トリガーを選択してこのタグを配信...' (Select a trigger to publish this tag...) and a blue link labeled '詳細' (Details). The top right corner of the interface has a '保存' (Save) button and a vertical ellipsis menu icon. A large orange number '3' is positioned in the top right area of the interface.

× 名前のないタグ

保存

タグの設定



タグタイプを選択して設定を開始...

[詳細](#)

タグアイコンをクリック

トリガー



トリガーを選択してこのタグを配信...

[詳細](#)

3

# GoogleタグマネージャーでLINEコンバージョンコードを設置する

5

括弧内にLINE広告管理画面でコピーしたコンバージョンコードを貼り付け

× タグタイプを選択

コミュニティ テンプレートギャラリーでタグタイプをさらに見つけましょう >

おすすめ

- Google アナリティクス >
- Google 広告 >
- Floodlight >
- Google タグ Google >
- コンバージョンリンカー Google >
- おすすめのコミュニティ CMP テンプレート Google タグ マネージャーの同等設定と高度な設定をご紹介します。

カスタム

- カスタム HTML カスタム HTML タグ
- カスタム画像 カスタム画像タグ

4

タグタイプ「カスタムHTML」をクリック

× 手順「2」で設定したタグ名

保存

タグの設定

タグの種類

カスタム HTML  
カスタム HTML タグ

HTML

```
<script>
1  _it('send', 'cv', {
2    type: 'Conversion'
3  }, ['9c324168-8d8c-40a1-af62-fb7e7a582a88']);
4  </script>
```

document.write をサポートする

> 詳細設定

# GoogleタグマネージャーでLINEコンバージョンコードのトリガーを作成する

7

右上の「+」をクリックして新規トリガーを作成する

手順「2」で設定したタグ名

タグの種類

カスタム HTML  
カスタムHTMLタグ

```
HTML  
1 <script>  
2 _tj({send: 'cv', {  
3   type: 'Conversion'  
4 }, ['9c324f68-8d3c-40a1-af62-fb7e7a582a88']});  
5 </script>  
6
```

document.write をサポートする

トリガー

トリガーアイコンをクリック

トリガーアイコンをクリック

トリガーの選択

名前 ↑	タイプ	フィルタ
All Pages	ページビュー	--
Consent Initialization - All Pages	同意の初期化	--
Initialization - All Pages	初期化	--

任意のトリガー名を設定

8

無題のトリガー

トリガーの設定

トリガーアイコンをクリック

トリガーアイコンをクリック

9

# GoogleタグマネージャーでLINEコンバージョンコードのトリガーを作成する

9

## • 該当のトリガータイプを選択

※トリガー設定では、コンバージョンタグが作動するタイミングを設定できる。お問い合わせや購入完了ページ（サンクスページ）をコンバージョンに設定したい場合は、「ページビュー」を選択。

× トリガーのタイプを選択

ページビュー

- DOM Ready
- ウィンドウの読み込み
- ページビュー
- 初期化
- 同意の初期化

クリック

- すべての要素
- リンクのみ

ユーザー エンゲージメント

- YouTube 動画
- スクロール距離
- フォームの送信
- 要素の表示

※「ページビュー」を選択した場合の例

10

「一部のページビュー」を選択

トリガーの設定

トリガーのタイプ

ページビュー

このトリガーの発生場所

すべてのページビュー  一部のページビュー

イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します

Page URL 含む https://primenumbers.co.jp/

11

「Page URL」を選択

12

コンバージョンをカウントするページのURLを入力

上記の設定を「保存」→「公開」したら、これでコンバージョンコードの設置は完了です

## ② コンバージョン計測のコードを取得・設定する

- ③ カスタムイベントコードを作成・設置する -

# ／ カスタムイベントコードを作成する

1

管理画面左上の「MENU」をクリック

2

「トラッキング (LINE Tag)」をクリック

3

画面下方にある「カスタムイベントコード」のタブをクリック

4

任意のカスタムイベント名を入力  
※カスタムイベント名は、半角英数字20文字以内で入力してください

カスタムイベント名

test

4/20

カスタムイベントを利用すると、ウェブページを分類して自由にトラッキングできます。タグの「CustomEvent」を任意のカスタムイベント名に変更してウェブサイトを設置することで、オーディエンス作成時にカスタムイベントを選択できるようになります。

※カスタムイベント名は、半角英数字20文字以内で入力してください。[カスタムイベントコードのマニュアル](#)

カスタムイベントコード

コピー

```
<script>
  _lt('send','cv',{
    type 'test'
  })
</script>
```

カスタムイベント名がコードに反映されます

コンバージョンID

5

「コピー」をクリック

# ／ カスタムイベントコードの取得が完了したら、次はWebサイトへ設置をしていきます。コードの設置方法は大きく分けて以下の2種類です。

## 1 Webサイトへ直接設置する

ウェブサイトのコンバージョンを計測したいページに、カスタムイベントコードを設置してください。カスタムイベントコードは**ベースコードの直後、またはコンバージョンコードを設置している場合はコンバージョンコードの直後※1**に設置してください。

設置が完了したらP37「広告管理画面でカスタムコンバージョンを作成する」の手順へ移行してください。

## 2 タグマネージャーで設置する

本資料では最もメジャーなタグ管理ツールである「Googleタグマネージャー」の設定方法を解説します。設定方法については次ページ以降で解説します。

※Googleタグマネージャー (Google Tag Manager, GTM) は、ウェブサイトやアプリにおける様々なタグをコード編集なしで一元管理できる無料ツールです。GTMを利用することで、タグの追加や更新、管理を簡単に行うことができます。

※1 コンバージョンコードを設定している場合の設置例

### 設置例：[ベースコード+コンバージョンコード+カスタムイベントコード]

```
<!-- LINE Tag Base Code -->
<!-- Do Not Modify -->
<script>
(function(g,d,o){
g._ltq=g._ltq||[];g._lt=g._lt||function(){g._ltq.push(arguments)};
var h=location.protocol==='https:'?'https://d.line-scdn.net':'http://d.line-
cdn.net';
var s=d.createElement('script');s.async=1;
s.src=o||h+'/n/line_tag/public/release/v1/lt.js';
var t=d.getElementsByTagName('script')[0];t.parentNode.insertBefore(s,t);
})(window, document);
_lt('init', {
  customerType: 'lap', tagId: '{tagId}');
_lt('send', 'pv', ['{tagId}']);
</script>
<noscript>

</noscript>
<!-- End LINE Tag Base Code -->
<script>
_lt('send', 'cv', {
  type: 'Conversion'
}, ['{tagId}']);
</script>
<script>
_lt('send', 'cv', {
  type: 'CustomEvent'
}, ['{tagId}']);
</script>
```

ベース  
コード

コンバージョン  
コード

カスタムイベント  
コード

引用元：タグを設置する（カスタムイベントコード）

[https://www.lycbiz.com/jp/manual/line-ads/tracking\\_004/?\\_gl=1\\*f0320r\\*\\_ga\\*MTIzOTU3NjYzMC4xNzA5NjMxNDIx\\*\\_ga\\_LRN9K71PXW\\*MTcyMTI4NDY3Ni42My4xLjE3MjE3ODQ4MDIuMzguMC4w](https://www.lycbiz.com/jp/manual/line-ads/tracking_004/?_gl=1*f0320r*_ga*MTIzOTU3NjYzMC4xNzA5NjMxNDIx*_ga_LRN9K71PXW*MTcyMTI4NDY3Ni42My4xLjE3MjE3ODQ4MDIuMzguMC4w)

## ② カスタムイベントコードを取得・設置する

-Googleタグマネージャーでカスタムイベントコードを設置する-

# GoogleタグマネージャーでLINEカスタムイベントコードを設置する

1

「新しいタグを追加」をクリック

The screenshot displays the Google Tag Manager workspace interface. On the left, a sidebar contains navigation options: サマリー (Summary), タグ (Tags), トリガー (Triggers), 変数 (Variables), フォルダ (Folders), and テンプレート (Templates). The main content area is divided into several sections. At the top, a status bar shows 'コンテナの品質: 非常に良い' (Container Quality: Very Good) and '問題は検出されませんでした。' (No issues detected). Below this, the '新しいタグ' (New Tag) section is highlighted with a blue box and a callout bubble. This section includes the text '50種類を超えるタグタイプから1つ選択します' (Select one from over 50 tag types) and a '新しいタグを追加' (Add New Tag) button. To the right, the '現在編集中' (Currently Editing) section shows 'Default Workspace' and a table of metrics: 'ワークスペースの変更' (Workspace Changes) with 0 '修正済みの数' (Number of Corrections), 0 '追加済みの数' (Number of Additions), and 0 '削除済みの数' (Number of Deletions). Further right, a green '公開されなかった変更' (Unpublished Changes) section prompts the user to 'タグを追加して、変更内容を公開してください。' (Add tags and publish your changes). At the bottom, the 'ワークスペースの変更' (Workspace Changes) section shows a pencil icon and the message 'このワークスペースには変更がありません。' (No changes in this workspace). The 'アクティビティ履歴' (Activity History) section is visible at the very bottom.

## GoogleタグマネージャーでLINEカスタムイベントコードを設置する

「LINE広告\_お問い合わせ」など任意の名前を設定

2

× 名前のないタグ □

保存

タグの設定

タグアイコンをクリック

タグタイプを選択して設定を開始...

詳細

トリガー

トリガーを選択してこのタグを配信...

詳細

3

# GoogleタグマネージャーでLINEカスタムイベントコードを設置する

## 5

括弧内にLINE広告管理画面でコピーしたカスタムイベントコードを貼り付け

× タグタイプを選択

コミュニティ テンプレートギャラリーでタグタイプをさらに見つけましょう >

おすすめ

- Google アナリティクス >
- Google 広告 >
- Floodlight >
- Google タグ Google >
- コンバージョンリンカー Google >
- おすすめのコミュニティ CMP テンプレート Google タグ マネージャーの同意設定と高度設定をご紹介します。

カスタム

- カスタム HTML  
カスタム HTML タグ
- カスタム画像  
カスタム画像タグ

4

タグタイプ「カスタムHTML」をクリック

× 手順「2」で設定したタグ名

保存

タグの設定

タグの種類

<> カスタム HTML  
カスタム HTML タグ

HTML

```
1 <script>
2 _t('send', 'cv', {
3   type: 'test'
4 }, ['9c324168-8d9c-40a1-af62-fb7e7a582a88']);
5 </script>
6
```

document.write をサポートする

> 詳細設定

# GoogleタグマネージャーでLINEカスタムイベントコードのトリガーを作成する

7

右上の「+」をクリックして新規トリガーを作成する

手順「2」で設定したタグ名

タグの設定

タグの種類

カスタム HTML  
カスタム HTML タグ

```
HTML
```

```
1 <script>  
2 _lcl('send', 'cv', [  
3   type: 'test'  
4 ], [{"3c324f88-8d9c-40a1-ef62-fb7e7a592e88"}]);  
5 </script>
```

document.write をサポートする

詳細設定

トリガー

トリガーアイコンをクリック

6

トリガーの選択

名前 ↑	タイプ	フィルタ
All Pages	ページビュー	--
Consent Initialization - All Pages	同意の初期化	--
Initialization - All Pages	初期化	--

任意のトリガー名を設定

8

無題のトリガー

トリガーの設定

トリガーアイコンをクリック

9

トリガーアイコンをクリック

# GoogleタグマネージャーでLINEカスタムイベントコードのトリガーを作成する

9

## 該当のトリガータイプを選択

※トリガー設定では、コンバージョンタグが作動するタイミングを設定できる。お問い合わせや購入完了ページ（サンクスページ）をコンバージョンに設定した場合は、「ページビュー」を選択。

× トリガーのタイプを選択

ページビュー

- DOM Ready
- ウィンドウの読み込み
- ページビュー
- 初期化
- 同意の初期化

クリック

- すべての要素
- リンクのみ

ユーザー エンゲージメント

- YouTube 動画
- スクロール距離
- フォームの送信
- 要素の表示

※「ページビュー」を選択した場合の例

10

## 「一部のページビュー」を選択

トリガーの設定

トリガーのタイプ

ページビュー

このトリガーの発生場所

すべてのページビュー  一部のページビュー

イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します

Page URL 含む https://primenumbers.co.jp/

11

## 「Page URL」を選択

12

## コンバージョンをカウントするページのURLを入力

上記の設定を「保存」→「公開」したら、これでGoogleタグマネージャー上でのカスタムイベントコードの設置は完了です

## **B** カスタムイベントコードを取得・設置する

-広告管理画面でカスタムコンバージョンを作成する-

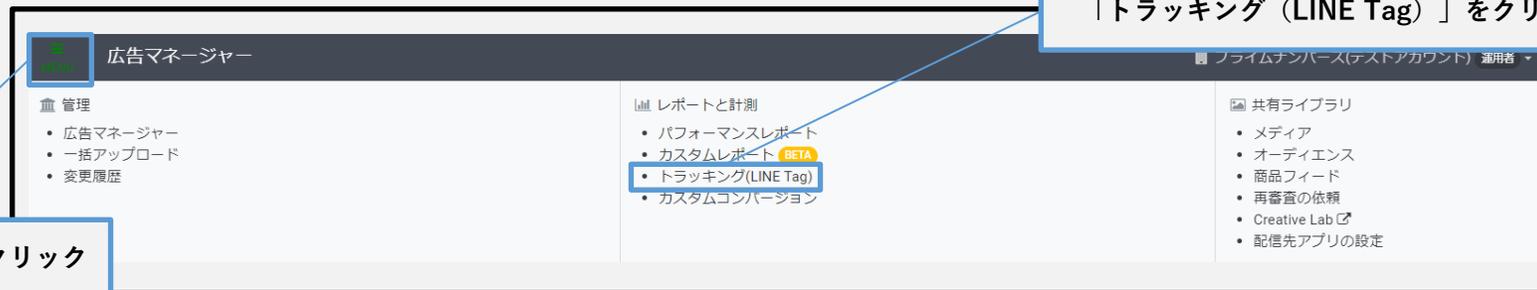
# ／ カスタムイベントコードのイベントが受信できているかを確認する

2

「トラッキング (LINE Tag)」をクリック

1

管理画面左上の「MENU」をクリック



3

設置したカスタムイベントコード名が表示されているか確認  
※設定したイベントが一定数発生した場合に、広告管理画面でイベントの受信を確認できます。イベント名の表示が確認できたら次へ進みます。

トラッキング(LINE Tag)

共有されたLINE Tag

## トラッキング(LINE Tag)

LINE Tagをウェブサイトには設置すると、配信する広告のコンバージョン計測やオーディエンスの

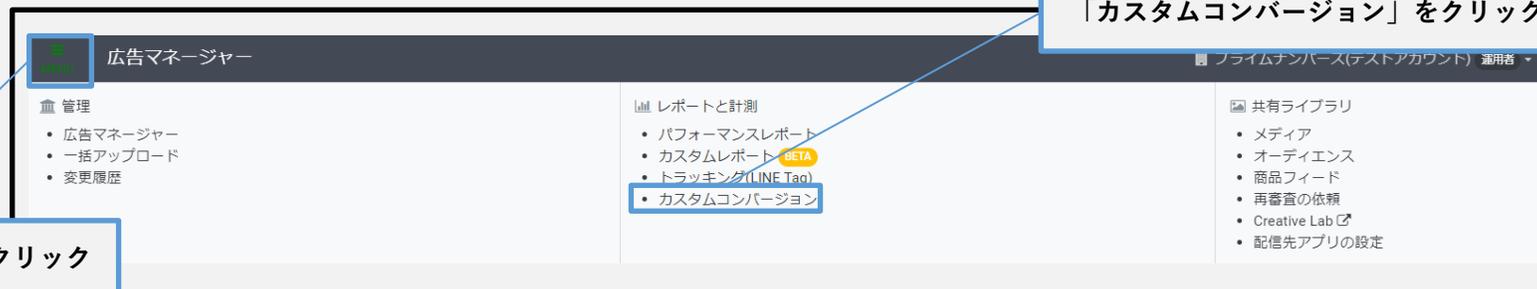
### ステータス

名前	ステータス	最終受信:
Base code	利用可能	
Conversion	利用可能	
P27 で設定したカスタムイベントコード名	利用可能	受信日時が表示されます

# ／ カスタムコンバージョンを作成する

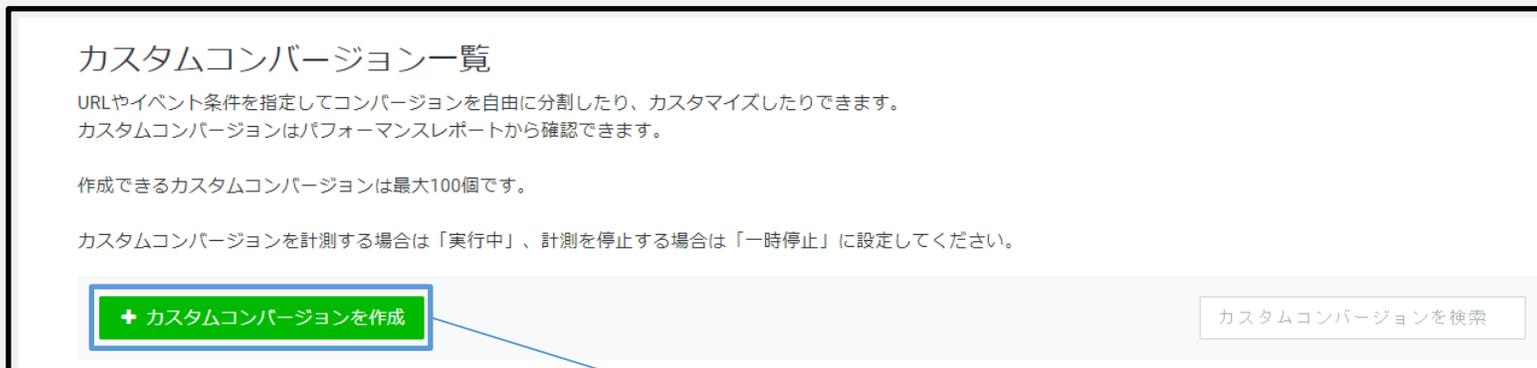
4

管理画面左上の「MENU」をクリック



「カスタムコンバージョン」をクリック

5



「+カスタムコンバージョンを作成」をクリック

6

# ／ カスタムコンバージョンを作成する

カスタムコンバージョン >  
カスタムコンバージョン作成

基本情報

名前  11/35

説明 (任意)  0/300

LINE Tag

有効期間  日

コンバージョン条件

マッチング方法  URL  イベント

イベント条件

7 任意のコンバージョン名を設定

8 「1~180」日までで有効期限を設定する

9 マッチング方法を選択  
※ここでは「イベント」を選択し、イベント条件のタブで該当するカスタムイベントコード名を選択します。

10 「保存」をクリック

## ▼コンバージョン条件について

### ・URL

特定のURL・keywordを1つ、またはOR/AND条件で複数設定します。  
※アスタリスク（\*）を利用したワイルドカードや前方一致は使用できません

<コンバージョン計測対象>

URL\_AとURL\_Bを...

- OR条件で指定：URL\_AかURL\_Bのどちらか
- AND条件で指定：計測不可（例：「URL\_AとURL\_Bを訪問」）

keyword\_Aとkeyword\_Bを...

- OR条件で指定：keyword\_Aかkeyword\_Bを含むURL
- AND条件で指定：keyword\_Aとkeyword\_Bを含むURL

### ・イベント

プルダウンに動作しているイベントコード名が表示されます。（カスタムイベントコードを設置している場合のみ）コンバージョンポイントとしたいイベントを選択してください。  
※イベント「Conversion」は、コンバージョンコードを指します

これでカスタムコンバージョン設定は完了です



## 会社概要

弊社はリスティング広告やSNS広告などWeb広告の運用コンサルティング業務と、LP・コーポレートサイトなどのWebサイト制作サービスを提供します。

社名 プライムナンバーズ株式会社  
PRIME NUMBERS

所在地 〒163-1107  
東京都新宿区西新宿6丁目22-1 新宿スクエアタワー7階

電話番号 03 - 6276 - 0568

資本金 5,000,000円

代表者 小林 大輔

設立 2012年10月3日

**無料相談はこちら**

<https://primenumbers.co.jp/>

**広告運用サービスのご案内資料はこちら**

<https://primenumbers.co.jp/download/primenumbers-service/>

**Web制作サービスのご案内資料はこちら**

<https://primenumbers.co.jp/download/web-pro-service/>